

決算委員会の審査概要 平成15年度 一般・特別・病院会計

経常収支比率86.3%

前年度比2.2ポイント減少の認識問う

議員 普通会計について、財政構造面での弾力性を示す経常収支比率が、十五年度は前年度に比べ2.2ポイント下がり八六・三%であった。一般的に、経常



平成15年5月に開設されたひらつか市民活動センター

と財政は弾力性を失うといわれている。市民の暮らしを守るために必要な扶助費などの義務的経費が増加した場合、収入が現在と同額か減少となれば経常収支比率は上がることになるが、この指標は、現状に合わなくなっているのではないかと

の市では、経常収支比率は良好とはいえない状況にある。

建設を検討するに当たったの考え方を聞きたい。

から意見を募っていきたい。その後作成された新庁舎の概要から市役所の機能、規模、建設予定地の具体的なイメージに基づき建設資金を算出していききたい。

める必要があると判断したため、元金として積み立てたものである。

委託料以外に要した市職員の時外勤務手当等を含め、七夕まつり開催経費の総額はどのくらいであったのか伺いたい。

なつた職員は六五七人、時間数は六五七五時間で、金額にして一七三万七千五百七十七円であった。

議員 経常収支比率に特別利益および特別損失を加えた十五年度の純損失が三億八六〇九万二〇四八円、十五年度末の未処理欠損金が一億二三五四万五九四一円であった。以前から経営改善に取り組んでいることは承知しているが、十五年度の具体的な取り組みを聞き

が前年度に比べ二・二ポイント下がっているが、これは経常的経費に充当した一般財源が前年度に比べ六七五〇万円増加したのに対し、分母となる経常一般財源総額が、臨時財政対策債の増額により、一三億三〇〇〇万円の増となったためである。この指標が現状に合うものかどうかは再考すべきものと思われる。これまで好景気のときには、一般的に各市ともに経常収支比率が八〇%を下回っていた。十五年度において、

高度医療機器の購入額を伺いたい。

は、医療対象年齢の段階的引き上げ、患者の自己負担額の引き上げ、患者の定額負担の廃止、公費負担の引き上げの四点が改正で本市にはどのような影響があったのか。

昭和三十八年に老人保健制度が開始されてから初めてのことであり、年間五〇〇人から六〇〇人ずつ減少する傾向は平成十九年まで続くと考えている。また、医療費の総額は前年に比べ約九〇〇〇万円増えて一六四億三〇〇〇万円余、給付件数は約三五〇〇件の増加により延べ六八万四九七

比べ六・八%増えたが、一日当たりの医療費の増加や、これまでの制度改

正によっても十三年度では一五・二%、十四年度では二%ほど患者負担

は伸びており、今回の改正で患者負担が大きく伸びたとは考えていない。

平成14年の老人保健医療制度改正 市の特別会計にどう影響

議員 老人保健医療事業の医療給付費負担金は一四九億四四二七万円余であったが、平成十四年十月の老人保健医療制度の改正で本市にはどのような影響があったのか。

は、医療対象年齢の段階的引き上げ、患者の自己負担額の引き上げ、患者の定額負担の廃止、公費負担の引き上げの四点が改正で本市にはどのような影響があったのか。

昭和三十八年に老人保健制度が開始されてから初めてのことであり、年間五〇〇人から六〇〇人ずつ減少する傾向は平成十九年まで続くと考えている。また、医療費の総額は前年に比べ約九〇〇〇万円増えて一六四億三〇〇〇万円余、給付件数は約三五〇〇件の増加により延べ六八万四九七

比べ六・八%増えたが、一日当たりの医療費の増加や、これまでの制度改

正によっても十三年度では一五・二%、十四年度では二%ほど患者負担

は伸びており、今回の改正で患者負担が大きく伸びたとは考えていない。

病院事業会計 経営改善の取り組み尋ねる

議員 市立の病院として、市民サービスと採算性をともに両立させることが重要と思うが、経営の考え方について伺いたい。

議員 経常収支比率に特別利益および特別損失を加えた十五年度の純損失が三億八六〇九万二〇四八円、十五年度末の未処理欠損金が一億二三五四万五九四一円であった。以前から経営改善に取り組んでいることは承知しているが、十五年度の具体的な取り組みを聞き

高度医療機器の購入額を伺いたい。

は、医療対象年齢の段階的引き上げ、患者の自己負担額の引き上げ、患者の定額負担の廃止、公費負担の引き上げの四点が改正で本市にはどのような影響があったのか。

昭和三十八年に老人保健制度が開始されてから初めてのことであり、年間五〇〇人から六〇〇人ずつ減少する傾向は平成十九年まで続くと考えている。また、医療費の総額は前年に比べ約九〇〇〇万円増えて一六四億三〇〇〇万円余、給付件数は約三五〇〇件の増加により延べ六八万四九七

比べ六・八%増えたが、一日当たりの医療費の増加や、これまでの制度改

正によっても十三年度では一五・二%、十四年度では二%ほど患者負担

は伸びており、今回の改正で患者負担が大きく伸びたとは考えていない。

診療科・部門別 原価計算の導入を

議員 十三年度から十五年度の三年にわたる新平塚市総合計画・改訂基本計画第二次実施計画での

高度医療機器の購入額を伺いたい。

は、医療対象年齢の段階的引き上げ、患者の自己負担額の引き上げ、患者の定額負担の廃止、公費負担の引き上げの四点が改正で本市にはどのような影響があったのか。

昭和三十八年に老人保健制度が開始されてから初めてのことであり、年間五〇〇人から六〇〇人ずつ減少する傾向は平成十九年まで続くと考えている。また、医療費の総額は前年に比べ約九〇〇〇万円増えて一六四億三〇〇〇万円余、給付件数は約三五〇〇件の増加により延べ六八万四九七

比べ六・八%増えたが、一日当たりの医療費の増加や、これまでの制度改

正によっても十三年度では一五・二%、十四年度では二%ほど患者負担

は伸びており、今回の改正で患者負担が大きく伸びたとは考えていない。

なつた職員は六五七人、時間数は六五七五時間で、金額にして一七三万七千五百七十七円であった。

委託料以外に要した市職員の時外勤務手当等を含め、七夕まつり開催経費の総額はどのくらいであったのか伺いたい。

なつた職員は六五七人、時間数は六五七五時間で、金額にして一七三万七千五百七十七円であった。

請願の審査概要

十二月定例会では二件の審査が行われた。

請願第一四号 安心して暮らせる年金制度確立のために、年金一改正法の実施中止の、国への意見書提出を求める請願では、現在の雇用情勢で意見書があった。採決しは、保険料を納付できない人の増加や、厚生年金加入者の減少はさらに進むと予想される。国民の多数が反対している年金法の施行を中止するための意見書提出を求める請願は、継続審査と決定した。

滞納繰越分の収入滞額は四九二五万八五七九円で、未収額は一億九三四九万四九八円であった。五年間の滞納整理期間があるため、今後も滞納整理に努めていきたい。



議員 市立の病院として、市民サービスと採算性をともに両立させることが重要と思うが、経営の考え方について伺いたい。

議員 経常収支比率に特別利益および特別損失を加えた十五年度の純損失が三億八六〇九万二〇四八円、十五年度末の未処理欠損金が一億二三五四万五九四一円であった。以前から経営改善に取り組んでいることは承知しているが、十五年度の具体的な取り組みを聞き

高度医療機器の購入額を伺いたい。

は、医療対象年齢の段階的引き上げ、患者の自己負担額の引き上げ、患者の定額負担の廃止、公費負担の引き上げの四点が改正で本市にはどのような影響があったのか。